

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末現在）	進捗状況（H20年度末現在）	進捗状況（H21年度末現在）	進捗状況（H22年度末現在）	地区振興計画	H19当初予算	H20当初	H21当初	H22当初予算	H23当初予算	完結分	
H17	1	八幡	八幡小学校のプールは、既に31年を経過し2番目に古く、小学校体育館から約120m離れている。移転建設を要望する	教育総務課	平成9年度に災害復旧工事、平成16年度に塗装工事及び更衣室を整備し問題がない。平成9年度の工事で国庫補助を受け、当分は処分できない	H19年度に移転改築する。現在設計業務委託中	H19年度改築済					○					○	
H17	1	八幡	合併特例債でも利用して整備していただけないか。体育館の近くが良い	教育総務課	災害復旧補助金は90%くらいが国の補助で、その残存期間が残っており、その期間が過ぎなければいけないという状況	同上	H19年度改築済					○					○	
H17	2	八幡	国道267号から市道丸山〜向鶴線が途中で狭路のため不便を強いられており、早急な拡幅工事が必要	建設整備課	平成3年度から平成15年度に運動公園側から、1,240mを整備した。地域住民らの利用を踏まえ国道267号へのルート検討を行っている。ルートが決まれば、平成18年度に実施設計を行い一部用地買収に取りかかり、用地買収次第では平成19年度から工事に着手したい	平成17年度に基本設計、平成18年度に実施設計測量計を行い平成19年度は用地補償等を実施予定	平成18年度から測量設計。19年度より用地買収中。平成20年度より一部工事に着手した。	平成20年度より一部工事に着手した。	・瀬ノ岡丸山線について、現在、実施中。	・完結	○	○	○	○	○	○		
H17	2	八幡	用地交渉が進まずストップしている。地元で協力をしたいので、できるだけ早期に整備していただきたい	建設整備課	市道瀬ノ岡・丸山線は、ルート案が4本ほどあり、どれが同意をいただけるかという段階。協力いただければ、工事に着手できるのではないかと	平成17年度に基本設計、平成18年度に実施設計測量計を行い平成19年度は用地補償等を実施予定	平成21年度実施計画搭載予定。地権者交渉を地元をお願いしている。	実施計画に搭載したが、実施にいたっていない。地権者等の調整必要。	・瀬ノ岡丸山線について、現在、実施中。	・完結	○	○			○		○	
H17	3	高来	体育館の裏山に水路が設置されているが、途中の里道部分の暗渠が埋没破損しており下部が宙に浮いている。改修を要望する	建設維持課	改修工事に着手している	改修工事に着手している	完了					○					○	
H17	4-①	高来	コミュニティセンターについて ① トイレを洋式便器に	コミュニティ課	洋式トイレの要望が多く、48のコミュニティセンターを調査している。財政上の問題もあるが、できるだけ早い時期に改修できないか検討したい	実施済 1F男・女（2箇所）を洋式トイレへ変更											○	
H17	4-①	高来	トイレの改修の計画については、何年度に完成を目処にしているのか	コミュニティ課	改修に該当する施設が27ある。市の実施計画のなかで計画を育て、全体的にいくらずりかという検討をしたい	実施済 1F男・女（2箇所）を洋式トイレへ変更											○	
H17	4-②	高来	② 2階への階段部分には、片側だけ手すりがついているが、両側に手すりを設ける	コミュニティ課	工事に着手しており、今月中には完成する	実施済											○	
H17	4-③	高来	③ 玄関付近の段差に、一部傾斜路を設ける	コミュニティ課	工事に着手しており、今月中には完成する	実施済											○	
H17	4-④	高来	④ 敷地入口に外灯を設ける	コミュニティ課	工事に着手しており、今月中には完成する	実施済											○	
H17	5	城上	今寺〜松岡線は道路狭路のため、既に10年前に用地買収は終了している。重要な道路であるので、拡幅整備をお願いしたい	建設整備課	市道今寺・松岡線は、上小川貴太郎氏宅入口まで整備を終えた。平成18年度に山下昭男氏宅下までの区間を測量設計し、年次的に整備を図る予定	平成18年度に測量設計、平成19年度に用地補償を実施し年次的に工事施工予定	平成19年度より再開。	平成20年度も実施した。	・年次的に実施中。	・実施中		○	○	○	○			
H17	6	城上	今寺〜向鶴線は役割も大きい。地権者の同意も9割方取り付けている。拡幅整備をお願いしたい	建設整備課	他に今寺・松岡線も要望されているが、どちらを優先とするのかを決めてほしい。離合場所の設置や側溝の整備が対応できないか検討したい	今寺・松岡線を優先することで処理	今寺・松岡線完了儀としている。	今寺・松岡線の完了後に検討。	・未実施	・未着手								
H17	6	城上	なかなか整備の進まなかった今寺・松岡線について、生活道路や地域活性化の面から、第1に要望したい	建設整備課	言われたように、今寺・松岡線を第一にし、今寺・向鶴線の離合場所の整備等の検討は行いたいと思うので、よろしく申し上げます	今寺・松岡線を優先することで処理	平成19年度より再開。	平成20年度も実施した。	・年次的に実施中。	・H17議題5と同じ				○	○		○	
H17	7	陽成	市または民間企業等の方々に、市営・公営住宅あるいは民間経営住宅などの設置をしていただきたい	建築住宅課	現在民間で作った借家を一定期間借上げ、市の住宅として貸し付ける制度を検討中。平成17年度に公営住宅ストック総合活用計画を策定中である	平成18年度に借上げ型地域振興住宅2棟を設置した											○	
H17	7	陽成	民間企業により住宅を整備したいという回答であったので、これを進めて早い時期に実現していただきたいと思う	建築住宅課	民間で作っていただき、市が借りる方法を検討中であるので、若い人に住んでいただける魅力のある住宅をつくろうということで考えている	平成18年度に借上げ型地域振興住宅2棟を設置した											○	
H17	8	陽成	市きらめき事業を今年度もしくは平成18年度に実施いただきたい。その資金をもとに、沿道の美化推進に努めたい	コミュニティ課	地区コミュニティ協議会が設立されたので、この美化推進のための活動に協議会の予算を分けなければいけない、などの検討をいただきたい。また、提出いただいた48地区の地区振興計画から、市基本計画への反映検討を行い、その中で新たなソフト事業、地区コミュニティ活性化の補助金制度を創設できないか協議を行っている	地区の特性や資源を活かし、地区の活性化に資するために取り組むソフト事業を支援するため、平成18年度に薩摩川内市地区コミュニティ活性化事業補助金を創設した。陽成地区においては、上記補助金を利用し、市きらめき事業の継続事業として、平成18年度「農産物直売所」の建設事業に取り組みられています	平成18年度に地区コミュニティ活性化事業補助金を活用して実施された。				○						○	
H17	8	陽成	市きらめき事業を今年度もしくは平成18年度に実施いただきたい。その資金をもとに、沿道の美化推進に努めたい	環境課	環境関連の補助制度は、快適環境づくり補助金がある。対象経費としては、フラワーボット、花苗など合致するので、検討いただきたい	平成18年度に陽成地区コミュニティ協議会より快適環境づくり補助金を活用したいとの要望があったが、諸事情により取り下げられた。平成19年度についても快適環境づくり補助金の受付は行っているため、申請があれば受け付ける	平成19年度には陽成地区コミュニティ協議会からの快適環境づくり補助金の申請はなかった。平成20年度についても快適環境づくり補助金は受け付けているので申請があれば受け付けることとする。						○				○	
H17	8	陽成	薩摩街道を歩くという取り組みがあり、これに県外から沢山の方が訪れる。他の補助金についても、助言をいただきたい	環境課	環境課の助成事業は平成17年度は締め切っているため、来年度申請いただきたい	快適環境づくり補助金では、道路沿いや公園などに花を植栽するなど快適な環境づくりに取り組む市民団体に対して補助を行っている。例えば、市民団体が薩摩街道の沿道に花を植え、修景を図るような事業にも活用できる。平成19年度には、快適環境づくり補助金の申請は出されていない。												○
H17	8	陽成	市きらめき事業を今年度もしくは平成18年度に実施いただきたい。その資金をもとに、沿道の美化推進に努めたい	社会教育課	厳しい行財政の中、歳出削減により財源確保に努めているが「旧川内市きらめき事業補助金」に替わる新たな補助金制度の創設に向け検討している	全体的な補助金の創設は困難。提案公募型補助金制度の活用を勧めたい												○
H17	9	湯田	川内高城温泉道路が狭く、大・小車輻の通行難の緩和等に対応できない。市長並びに県知事宛に隧道バイパスの陳情書を提出した	建設政策課	現在の湯之元地区の県道幅員等を勘案すれば、バイパス建設は必要と考えるが、県知事の回答等もあり、地元の状況等を見守りたい	平成18年12月に県が事業説明会を開催し、その結果地元の合意形成がなされたものと判断し、平成19年度から着工する方向で調整したいとの考えが示されたところである。今後も引き続き県へ同路線の改良促進の要望を行う	一般県道東郷西方港線のバイパス工事については、一部反対意見はあるものの、H19年度に着手した。（H19.10.22の地元説明会時での圧倒的建設支持を受けて）				○						○	

平成中・高城西中校区まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H17年度末）	進捗状況（H19年度末現在）	進捗状況（H20年度末現在）	進捗状況（H21年度末現在）	進捗状況（H22年度末現在）	地区振興計画	H19当初予算	H20当初	H21当初	H22当初予算	H23当初予算	完結分
H17	10	湯田	地域発展に影響をもたらす市道一条般・峠路線の改良工事の継続及び一層の促進をお願いしたい	建設整備課	地元の御意見を聴きながら、年次的に整備を図る予定である	難合箇所等の設置で対応できない地元と協議をしていきたい	平成19年度より整備中。	平成20年度も一部施工した。	一部実施。	未着手	○	○	○	○			
H17	11	西方	西方小学の特認校生の通学条件を肥薩おれんじ鉄道に限定せず、路線バス並びに特認校バスを利用できるようにお願いしたい	学校教育課	平成18年度までは肥薩おれんじ鉄道利用者のみに限定して募集したい。平成19年度からの特認校生については、十分検討していきたい	平成18年度に引き続き、19年度においても、肥薩おれんじ鉄道利用者のみに限定して募集を行い、平成18年度6名、19年度9名が特認校生として通学している。通学条件については、今後の推移をみて検討していきたい	19年度においても、肥薩おれんじ鉄道利用者のみに限定して募集を行い、19年度9名が特認校生として通学している。通学条件の路線バス等への拡大については、現在のところ考えていない。					○				○	
H17	11	西方	肥薩おれんじ鉄道一つにしぼられ、通学時間等いろいろと問題があるという話も聞いている。ぜひ他の交通機関も検討いただきたい	学校教育課	平成18年度は制度ができていた。体験入学をしたいという方が2名ほどいらっしゃる。これを踏まえ特認校の制度について検討したい	通学時間等については、学校長と協議して調整ができていない。駅から学校までの通学路の安全対策についても、教職員等によって行われている。現在のところ他の交通機関については考えていない。						○				○	
H17	12	西方	避難場所が西方体育館（西方地区コミュニティセンター）となっているが、大雨になればすぐに溢れて道路を寸断してしまい、避難路として使えなくなる。鉄道を越えて渡れるよう、西方駅に跨線橋の設置を要望する	建設整備課	市営住宅前の松山川は、国道3号を横断する部分の改修を行う予定で、流れは良くなり効果が得るものだと期待している。西方駅の跨線橋は鉄道利用者専用で、これを西方体育館に延伸することは難しい。新しい跨線橋は相当な事業費を必要とするため、現在のところ予定していない。松山川を改修し、道路が冠水しないように努力している	松山川の分水路については、平成18年度完了。跨線橋については、現在のところ予定していない	再三要望があるが、難しい。対応策として国道に歩道整備計画が決定した。	実施に至っていない。	未着手		○		○				
H17	12	西方	潮の関係で、満潮のときは行けなくなると思う。避難路は緊急時に使えるものではないといけなないので、検討をお願いしたい	建設整備課	設置すると、3億から4億のお金がかかるので、できない。潮がその地点まであがってくるという考えは私どもは持っていない	松山川の分水路については、平成18年度完了。跨線橋については、現在のところ予定していない	再三要望があるが、難しい。対応策として国道に歩道整備計画が決定した。	再三要望があるが、難しい。対応策として国道に歩道整備計画が決定した。	未着手		○						
H17	13	吉川	縦の交通路線はあるが、横の路線がない。西方海岸から高城温泉、藤川天神へと通じる観光ルートとなる道路を新設いただきたい	建設整備課	城上町吉川の下之段から東郷町藤川の井川とを結ぶトンネルは、壮大な構想のため実施は非常に難しい。一歩一歩基礎固めを行うことが第一である	トンネルについては、現在のところ予定していない	現在湯之元地区を整備中。その後となる。	現在湯之元地区を整備中。その後となる。	未着手				○				
H17	13	吉川	これは今までの話ではない。藤川地区の方とも申し合わせをしている。今日明日の話ではないので、長い目でみていていただきたい	建設整備課	藤川は昔は吉川校区だった。という人的つながり、集落のつながりは大切である。トンネルを掘ればいいのだけれども、30億くらいかかる	トンネルについては、現在のところ予定していない	現在湯之元地区を整備中。その後となる。	現在湯之元地区を整備中。その後となる。	未着手				○				
H17	14	吉川	学校が無くなることで地域がさびれていき、地区民の拠り所がなくなってしまふ。吉川小学校の未永い存続をお願いしたい	学校教育課	現在、小・中学校の統合は考えていない。特認校制度は地元生がいなくなると存続できないので、地元児童の確保も取り組んでいきたい	平成19年度において、特認校生14名、地元児童5名となっている。今後の地元児童の推移等を考慮し、特認校制度についても検討していきたい	教育委員会では、「市立学校通学区域・適正規模等審議会」に学校の通学区域や適正規模等をどのように考えていけばよいか審議をお願いしているところである。今後、審議会の審議結果をもとに、子どもの教育はどうあるべきかという視点に立って、通学区域の見直しや適正規模化を踏まえた学校の再編等についても慎重に考えていきたい。その中で、教育の機会均等や財源などの面から問題が指摘されている特認校制度の在り方についても、検討したいと考えている。学校存続を考えると今は特認校制度による児童数確保に頼らなくてはならない状況もあるだろうが、保護者や地域の方々にも、子どもの教育に視点をおいて、学校の適正規模化や統合等についても御理解・御検討をいただきたい。					○				○	
H17	15	吉川	頼りとなるところは学校しかない。若い方々に住んでいただくことに取り組んでいるので、御協力ををお願いしたい	建築住宅課	小学校をつぶしたりするというのは、もとより考えていない。住宅を民間でつくってもらい、それを市が借り上げてやるということも考えている	借上型住宅の整備は、まず地元からの要望が不可欠である。地元の入居希望者の状況を伺いながら検討してまいりたい。なお戸川住宅6戸のうち現在1戸募集しているため入居者の斡旋をお願いしたい	地元の入居希望者の状況を伺いながら平成21年度以降に検討して参りたい。	平成21年度の事業実施予定地区として、地区コミ協と建設用地の確保について協議中である。今後、用地が確定次第、事業を進める計画である。	地域振興住宅建設について地区コミ協と協議を行っているが、現在、教育委員会が進めている「小・中学校の再編に関する基本方針（案）」等を参考に、平成22年度に実施予定の「市営住宅等長寿命化計画」の中で検討していきたい。	平成22年度で策定した市営住宅等長寿命化計画において、借上型地域活性化住宅としての整備をすすめることとしている。時期等については、今後、地区コミと協議していきたい。				○			
H19	1	八幡	水害が2度と発生しないように、川内川今村第1樋門（発動機式ゲート）及び第2樋門に予備的水中ポンプの設置をお願いする。	建設維持課	今後、昨年の豪雨を踏まえ、排水能力を向上させるための方策をいろいろ検討してまいります。たとえば、河川の伐採・浚渫、排水ポンプ車の追加配備、排水ポンプの設置など。		左記の通りであり、現段階では難しい	回答概要のとおりで、現段階では難しい。		今村第1樋門については、現在施工中の市道瀬ノ岡・丸山線の工事に伴う影響等も予想されることから、平成22年度より臨時ポンプの設置について検討したい。第2樋門については、当面上流の角浦川の伐採等を実施し、今後、抜本的な排水対策について検討したい。							市内全域の内水排除の施設等の基礎調査を実施しており、その結果で検討してまいりたい。なお、市道瀬ノ岡丸山線の開通に伴い、今村第1樋門に仮設ポンプを設置する予定である。
H19	2	八幡	旧下東郷中学校体育館を活用する計画の可否、また起債の返済状況と体育館の解体について教えてほしい。	財産活用推進課	平成16年からは、スポーツクラブの体操会場として活用していただいていたが、建物の老朽化等に伴い借り手がいない状況である。また、起債の返済については償還済みであり、国庫補助金の返還も発生しません。解体となると高額な費用がかかり、現在の財政状況からは難しい状況であるため、安全対策に留意しながら現状のまま維持管理することとした。		解体の方向で検討中（時期不明）	解体の方向で検討中（時期不明）	平成22年度中に解体する予定である。							○	○
H19	2その他	八幡	八幡小学校の運動広場が狭く、活動に支障があるので体育館の解体を、今後計画に入れていただきたい。	財産活用推進課	本年は、小学校のプールを移転築設したので、体育館の解体は今後検討していきたい。		解体の方向で検討中（時期不明）	解体の方向で検討中（時期不明）	平成22年度中に解体する予定である。						○	○	
H19	3	高来	高城川右岸に幅80m～30m、長さ500m程度の河川敷があり、雑草木が繁茂し、不法投棄や害虫発生の原因となっている。環境美化と健康増進の面から、この場所を伐採、整地して運動広場やジョギングコース等を設置してもらいたい。	建設整備課	河川管理者である県河川港灣課に、伐採等の要望の趣旨を説明したが、同様の要望地区箇所が多数寄せられており、県の財政状況からも、河道敷内の堆積土の除去、伐採が実施していないというところだったが、県が実施している水辺環境サポート事業で、地域ボランティア伐採作業の活動による登録等をしてもらい、地元の熱意、意気込みを示し、地元と市及び県と連携をとりながら高水敷の活用できる整備事業を研究したい。		再三県へも要望しているが、実施に至っていない。	再三県へも要望しているが、実施に至っていない。	再三県へも要望しているが、実施に至っていない。	再三県へも要望しているが、実施に至っていない。							

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区振興計画	H19当初予算	H20当初	H21当初	H22当初予算	H23当初予算	完結分		
H19	4	高来	京セラ川内工場の増設に伴う埋立地周辺の排水・水害対策について。抜本的な対策を講じられたい。雨水対策が緊急課題である。	建設維持課	京セラ川内工場増設のための敷地の造成工事は、地権者や地元の協力により本年5月末に完了した。造成地周辺の排水対策については、造成工事に引き続き、排水先となる排水路や公佛川に堆積した土砂等の除去を行ったところである。抜本的な対策については、まず現地調査を行った。今後、どのような対策がとれるのか、具体的・技術的検討を行うこととして、そのための予算の確保を行い、その検討結果に基づき、とれる対策から対応していきたい。		H20年度に建設維持課にて内水解析を行う予定	内水解析の結果に基づき、今後検討を行う。		平成20年度に内水解析を実施したが、周辺地域の状況等を考慮し、引き続き排水対策について検討を行いたい。			○						
H19	5	城上	市では、子供を産むと月々5千円支給の他に、紙おむつ代として年1万8千円を支給しているとのことだが、今回市に請求したところ、市に1年以上住んでいないと支援の対象にならないと言われた。改善していただきたい。	子育て支援課	「すくすくベビー券支給事業」という市単独事業で、手当支給等については、それぞれの条例、要綱の支給要件のなかに、「本市に住所を1年以上有する者」と「税等の完納」を規定している。国の補助事業は住所要件等の規定はしませんが、市の単独事業は税金が財源となりますので、平等・公平から要件としているところである。		市単独事業すべての子育て支援事業について、平成20年度から住所要件の「1年以上」を「3ヶ月以上」に改正して、支援が受けられるように改正した。										○		
H19	5その他		子育て支援事業の説明では、妊娠して転入された方には該当しないので、市単独事業すべての子育て支援事業の住所要件「1年以上」を、「出生後4ヶ月の検診後」に改正して、支援が受けられるよう検討していただきたい。定住促進の環境づくりにもなる。	子育て支援課	市の単独事業であるので住所要件を規定してある。定住促進にも繋がるので検討していきたい。		市単独事業すべての子育て支援事業について、平成20年度から住所要件の「1年以上」を「3ヶ月以上」に改正して、支援が受けられるように改正した。											○	
H19	6	城上	県道吉川・川内線は車輦通行量が多く、朝夕はラッシュ状態である。向上地区の今寺から運動公園に通ずる向鶴線の拡幅改良工事が最善策と思われるので要望する。	建設整備課	平成17年度のふれあい市民会議でも同様の要望が出され校区での優先順位をお願いしたところ、市道今寺・松岡線を優先したい旨の申し出を受け、平成18年度から測量設計を行い今年度から工事を実施したい旨の地元説明会等を行っている。財政上2路線同時の実施は厳しいため、まずは市道今寺・松岡線を優先したい。		平成19年度より市道本城・瀬ノ岡線を整備中。	平成20年度から整備中、平成21年度で完了		・未着手			○	○					
H19	7	陽成	陽成地区の最大の振興策であり、又地区浮揚の基本的対策として、再度借上型地域振興住宅の継続建設を進めていただきたいと要請する。	建築住宅課	陽成地区は平成18年度に借上型地域振興住宅を、2棟2戸建設したところである。平成19年度は東郷町山田地区等に計画している。今後、この借上型地域振興住宅を継続的に建設して行く計画ですが、住宅の供給地域の選定については、市全体の地域振興住宅のバランスを考慮しながら事業を進めて参りたい。		借上型地域振興住宅を継続的に建設して行く計画ですが、住宅の供給地域の選定については、市全体の地域振興住宅のバランスを考慮しながら事業を進めて参りたい。	借上型地域振興住宅を継続的に建設して行く計画ですが、住宅の供給地域の選定については、市全体の地域振興住宅のバランスを考慮しながら事業を進めて参りたい。	借上型地域振興住宅建設について地区コミ協と協議を行ってきているが、現在、教育委員会が進めている「小・中学校の再編に関する基本方針(案)」等を参考に、平成22年度に実施予定の「市営住宅等長寿命化計画」の中で検討していきたい。	借上型地域振興住宅は、ゴールド集落対策のひとつとして、他の地区でも要望のある事業であるため、当地区での事業実施は未定である。							○		
H19	8	陽成	本川・上大迫線、未整備箇所の早期完成を要望する。	建設整備課	市道本川・上大迫線については、今年度から測量設計業務を行い継続的に工事を実施する予定である。		継続実施中	平成20年度も実施した。平成21年度も実施予定		・年次的に実施中。			○	○	○				
H19	9	吉川	地域の活性化を生み出す為には、学校は必要であり、是非残して欲しい。	学校教育課	現在、吉川小学校の地元の子供は5名であるが、特認校制度により校区外からの14名の児童を迎え、総計19名の活気ある学校となっている。しかし今後の児童数の推移を見ると、平成20年度～23年度の児童総数が3名、24年度に2名、25年度に1名、その後、28年度には0という予測のデータがある。このような状況から、学校の存続を考えると、今後は特認校制による児童数の確保に頼らざるを得ないところがある。その場合、極小規模校として存続していくことが児童の教育上適切か、地域の活性化と学校の存続とをどのように考えていくか、またPTA活動の運営はどうなるのか等の課題があり慎重に検討していかなければならないと考えている。		教育委員会では、「市立学校通学区・適正規模等審議会」に学校の通学区や適正規模等をどのように考えていけばよいか審議をお願いしているところである。今後、審議会の審議結果をもとに、子どもの教育はどうあるべきかという視点に立って、通学区の見直しや適正規模化を踏まえた学校の再編等についても慎重に考えていきたい。その中で、教育の機会均等や財源などの面から問題が指摘されている特認校制度の在り方についても、検討したいと考えている。学校存続を考えると今は特認校制度による児童数確保に頼らなくてはならない状況もあるだろうが、保護者や地域の方々にも、子どもの教育に視点を置いて、学校の適正規模化や統廃合等についても御理解・御検討をいただきたい。											○	
H19	10	吉川	吉川地区は、携帯電話の不感地域であり非常に不便である。中継アンテナの早期設置を働きかけて欲しい。	情報政策課	薩摩川内市内の移動通信用鉄塔設置の整備については、要望の寄せられた地域の世帯数、地域の状況、設置費用等を考慮し優先順位を判断して、計画的で効果のある整備を実施していくこととしている。吉川地域については、平成20年度で整備できないか、通信事業者に対して事業参画の働きかけを行ってきたい。		平成20年度で通信事業者(a u)により単独整備される。	平成20年度で通信事業者(NTTドコモ)により単独整備された。	平成21年度で通信事業者(a u)により単独整備された。										○
H19	11	湯田	市道一条線・峠路線について、陽成地区との基幹道路である為交通量が多い。またカーブが多く大変危険である。地域住民の生活道路となっていることに鑑み、優先的に整備を要望する。	建設整備課	本路線には、平成17年度まで改良工事を行ってきましたが、相続関係で登記が困難なため整備できていない箇所が一部残されている。測量設計費を予算化していますので今後、地元と協議しながら検討してまいりたい。		平成19年度より継続実施中	平成20年度も一部施工した。		・未着手			○	○					
H19	12	湯田	少子化に伴い児童生徒数が激減している。少子化対策として、幼稚園、小学校、中学校の一貫教育で地域の親子を教育面からサポートし、少子化に歯止めをかけたい。ぜひ実施を要望する。	学校教育課	湯田小学校、高城西中学校については、立地条件としては、併設型の小中一貫校の設置に適していると考えている。しかし、設置に向けては、まず湯田小学校と西方小学校との統廃合という課題を解決する必要がある。併せて、現在、西方小学校の特認校生を除いた2小学校の児童総数は33名であるが、6年後には、湯田小9名、西方小4名の計13名の極小規模校になる見込みであり、小中一貫校として適切な規模であるかどうかも見極めていかなければならないので、今後検討してまいりたい。		教育委員会では、「市立学校通学区・適正規模等審議会」に学校の通学区や適正規模等をどのように考えていけばよいか審議をお願いしているところである。今後、審議会の審議結果をもとに、子どもの教育はどうあるべきかという視点に立って、通学区の見直しや適正規模化を踏まえた学校の再編等についても慎重に考えていくことになるが、その中で小中一貫教育を視野に入れた学校再編についても考えていきたい。												○
H19	13	西方	風水害・地震・津波等の緊急時の避難所への通路確保について、西方駅からコミュニティセンター、西方小学校へ通る避難道路の新設を要望する。	建設整備課	平成18年度に松山川の国道3号下の狭小部についてバイパス工事が完成したことにより効果が現れるものと考えている。跨線橋の新設については、財政的にも厳しいため予定をしていない。		平成19年度より国道の歩道整備で対応中。	国道3号線歩道整備中		・未着手			○	○					

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区振興計画	H19当初予算	H20当初	H21当初	H22当初予算	H23当初予算	完結分		
H19	14	西方	西方定住希望者に対する対応について、中古住宅の改修費の助成及び市の借り上げ住宅としての活用、市営住宅及び県営住宅の新設を要望する。	企画政策課	現行の定住住宅取得補助金制度は平成20年3月までであるので、本年度中に制度について再検討するとしており、定住者のリフォームに対する補助についても十分検討したい。		平成20年度以降も定住住宅取得補助は継続を行っている。また、平成20年度以降リフォームに対しても補助制度を新設したところである。											○	
H19	14	西方	西方定住希望者に対する対応について、中古住宅の改修費の助成及び市の借り上げ住宅としての活用、市営住宅及び県営住宅の新設を要望する。	建築住宅課	西方地区については、借上型地域振興住宅を計画している。建設年度については、今後、場所の選定や入居希望者の状況を見ながら検討して参りたい。また、県営住宅の建設計画は無いということでした。		平成20年度建設で、建設のための公募の準備中である。	地区コミで選定してもらった用地において公募した結果、応募のあった1業者と現在、事業実施に向けて協議中である。	西方地区に借上げ型による地域振興住宅の事業者が決定し平成22年度に建設予定である。	借上型地域振興住宅の1棟2戸を建設				○				○	
H19	その他	—	荒れた山が多く、孟宗竹が繁茂し植林地を侵食している。除間伐補助金を上げてやる気を出す方策をしてほしい。また、除間伐の人的支援策として農業公社の活用又は同じ公社を作っていたきたい。	林務水産課	治山対策、温暖化対策等森林の持つ多面的な効果があり、山の必要性は十分認識しております。農業・水産・森林等後継者育成は困難である。人的支援については森林組合と協議をしたい。		・森林組合においては、切捨間伐から利用間伐へ転換を図り、森林所有者へ利益が出るような取り組みを進めている。 ・市は20年度において、間伐に対する上乗せ補助の予算を増額し、間伐促進に対応している。 ・人的支援策としては、森林組合で対応するように進めていきたい。	平成19年度回答と同	平成19年度回答と同	平成19年度回答と同								○	
H21	1	八幡	旧下東郷中学校体育館は老朽化が進み現在活用されていない。八幡小学校の運動広場が狭く、活動に支障があるので、早急に体育館を解体して運動広場の整備をしていただくよう地区民の総意に基づき要望する。	財産活用推進課	以前から、地元より旧体育館の解体要望があり、市においても協議・検討しているところである。今後、類似施設も考慮しながら、平成22年度の早い時期に解体工事を実施できるよう検討していきたい。解体後のグラウンド整備や整地については、地区の皆様の支援をいただきたいと考えている。					平成22年度中に解体する予定である。								○	
H21	2(1)	高来	津山坂道路拡幅について	建設政策課	当該箇所は年々通過車両が増加し、通学路としては、極めて危険な箇所であることは、県、市とも十分承知しており、本年5月には県を交え現地検討会も行ったところである。一部地権者の協力が得られず、一旦休止になっていたが、地権者の御息と話ができる状況になったことから、県・市が連携しながら慎重な交渉準備を進めている状況にある。				国・県事業の実施に関する要望書登載のうえ要望してまいりたい。	回答のとおり									
H21	2(2)	高来	高城保育園入口歩道設置について	建設政策課	高城保育園入口は津山坂道路と同時に整備区間となっている。高来小前付近までは平成14年ごろまでに歩道が整備されたが、残りの妹背橋までの区間は、建物移転準備等に大きな予算が必要ことから県の財政状況も厳しく休止状態である。県の担当課も現地を見ており、津山坂道路の進捗と絡めながら事業再開に向け、県に要望していきたい。				国・県事業の実施に関する要望書登載のうえ要望してまいりたい。	回答のとおり									
H21	3	城上	高齢者（交通弱者）の救済に繋がる施策として、くるくるバス運行路線まで、週に1〜2回定期的な民間運送会社による循環運行はできないものか、コースとしては城上町（市道・今寺〜松岡線）の今寺橋〜川原段自治会（準ゴールド集落）〜小川自治会（現状ゴールド集落）から陽成町の上大迫〜本川線。	商工振興課	他地区からも同様の要望が数多く出ているが、全ての要望に定時定路線のバスによって対応するのは難しい状況である。今後は、市ではバスで対応できない地域については、バス以外の新しい方式、ジャンボタクシー等による事前予約型乗合タクシー・NPO法人等による有償運送・地域の皆様による無償運送、これらのいずれかを導入し、加えて従来のバス路線も見直しながら改善を図りたいと考えている。ただし、これらの新しい方式については、導入するメリットはあるものの、法令に基づく各種の制約がある。市としてはゴールド集落などの交通事情は理解しているところであるので、それぞれの地域の実情にあった最善の方法を現在検討中である。				北部循環バス（城上・吉川線）の川原段自治会周辺の交通空白地帯において、現地調査を行い、北部循環線の一部路線変更で対応できるように、バス会社及び自治会と協議を進めている。	川原段自治会周辺の交通空白地帯については、地元自治会で協議していただいた結果をもとに、北部循環バス（城上・吉川線）全9便のうち、2便を市道今寺・松岡線及び広域農道を通る路線を新たに追加し、バス停3ヶ所「下小川」「川原段」「角床」を設け、平成22年9月から運行を行っている。 また、平成23年4月にはこの地区においてバスの利用状況を調査し、その結果をもとにさらなる利便性の向上のため、地元地区コミと協議をさせていただき予定である。 今後は、市としてコミュニティバスでカバーできない地区コミエリアでの交通空白地の解消については、川内地域では現在のコミュニティバスのさらなる充実を認るとともに地区コミによるデマンド運行を進めていくことにしている。 そのために、地区コミ・デマンド運行モデル事業の補助金を平成23年度に予算措置をしており、平成23年10月以降に募集を開始する予定であるので、要望があればこの制度を川内地域では利用することも可能である。							○		
H21	4	陽成	地区の過疎化対策の一つとして、市営住宅を2戸の建設をしていただいた。入居者からも喜ばれており、少子化にわずかでも役立っている。市有地に更に建設をお願いしたい。建設希望地 四牧自治会内市有地（空地）	建築住宅課	平成21年度は西方・湯田・鳥丸地区について建設予定地を絞り込み中であり、決まり次第8月には公募予定である。この制度については建設的に進めていくこととしている。陽成地区については状況等を確認させていただくために、早い時期にコミュニティ協議会長や自治会長と話し合いを行いたいと考えている。条件が整っているということであれば、当然前向きに取り組みたいと考えている。				地域振興住宅建設について地区コミ協と協議を行ってきているが、現在、教育委員会が進めている「小・中学校の再編に関する基本方針（案）」等を参考に、平成22年度に実施予定の「市営住宅等長寿命化計画」の中で検討していきたい。	借上型地域振興住宅は、ゴールド集落対策のひとつとして、他の地区でも要望のある事業であるため、当地区での事業実施は未定である。								○	
H21	5	吉川	高齢化が進み、猪・鹿の食害を受けるため、地区内の耕地はほとんど荒地化しているのが現状である。電柵や網などの防護柵設置に多くの経費と労力が必要となるので、根本的な獣害対策をお願いしたい。	林務水産課	市内全域で鳥獣被害は拡大しており、耕作放棄地も非常に拡大している。平成20年も鳥獣駆除を実施したが被害の軽減には追いついていない。今年度は、捕獲単価を引き上げたことにより、去年より多く捕獲が進んでおり、効果ができていると感じている。被害には迅速に対応したいと考えている。平成20年度2月に鳥獣被害防止特措法ができ、本市では本年度鳥獣被害防止計画を策定することにしており、その中で、防止柵の設置等活動計画の内容を定めて、鳥獣被害防止計画を進めていきたいと考えている。計画策定までの間については、市・県が行っている電柵等の補助を本年度も募集している。是非被害のある地区は活用していただきたい。被害がでた後すぐ連絡をいただければ担当をきめて調査に伺うので協力をお願いしたい。				回答と同様		市全体での有害鳥獣捕獲頭数も年々増えているが、駆除による被害防止は限界があり今後は守る被害防止対策が有効だと考えているところであり、農政サイドでの補助金制度もあるのご相談頂きたい。								○

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H17年度末)	進捗状況 (H19年度末現在)	進捗状況 (H20年度末現在)	進捗状況 (H21年度末現在)	進捗状況 (H22年度末現在)	地区振興計画	H19当初予算	H20当初	H21当初	H22当初予算	H23当初予算	完結分
H21	6	湯田	市道一条段・峠路線道路改良をお願いしたい。	建設整備課	市道一条段・峠路線の未整備区間は約1,900mあり、湯田地区側については、約1,100mが未整備である。全線を2車線道路として整備を行うと多大な事業費が必要になると考えている。陽成地区側の未整備区間は約800mあり、地元協議を実施し、全線の拡幅改良は行わず、一部、待避所の設置とカーブ部の視距確保の工事のみを実施することでご理解いただき、年次的に工事を実施している。湯田地区側についても、陽成地区側と同じような考え方でご理解を得られないか今後、地元説明会等をさせていただきたい。				・未着手	・未着手							
H21	7	西方	緊急時の避難道路の確保について、風水害・地震・津波等の緊急時の避難所への通路確保 内訳：西方駅からコミュニティセンター、西方小学校（避難所）通る避難道路（跨線橋の設置）の新設	建設整備課	国道3号線の冠水の要因ともなっていた、国道下の松山川の挟隘部バイパス工事の完成により効果が現れるものと考えている。また、国道の歩道整備も実施されており、歩行者の移動時の安全性は、かなり確保されてきたと考えている。従って、跨線橋の新設については、関係機関との協議や予算等に大きな課題があるため、今のところ建設の考えはない。				・未着手	・未着手							
H21	その他	—	西方地区の国道3号未整備部分の車道の拡幅及び歩道の整備をお願いしたい。 白沢津・伊勢美山線の見通しの悪い箇所の改修、離合箇所の設置を検討していただきたい。	建設整備課	国道3号の西方地区の歩道が非常に危険であること、車道の幅員が狭いことは管理者である鹿児島国道事務所へ伝える。白沢津・伊勢美山線については、以前、部分拡幅工事を行った。地元と協議して見通しの悪い箇所・離合箇所について対応しようと考えている。				・未着手	・井高踏切付近の未買収地の買収完結							